

県立高等学校教育改革の
これまでの取組

平成26年6月12日

青森県教育委員会

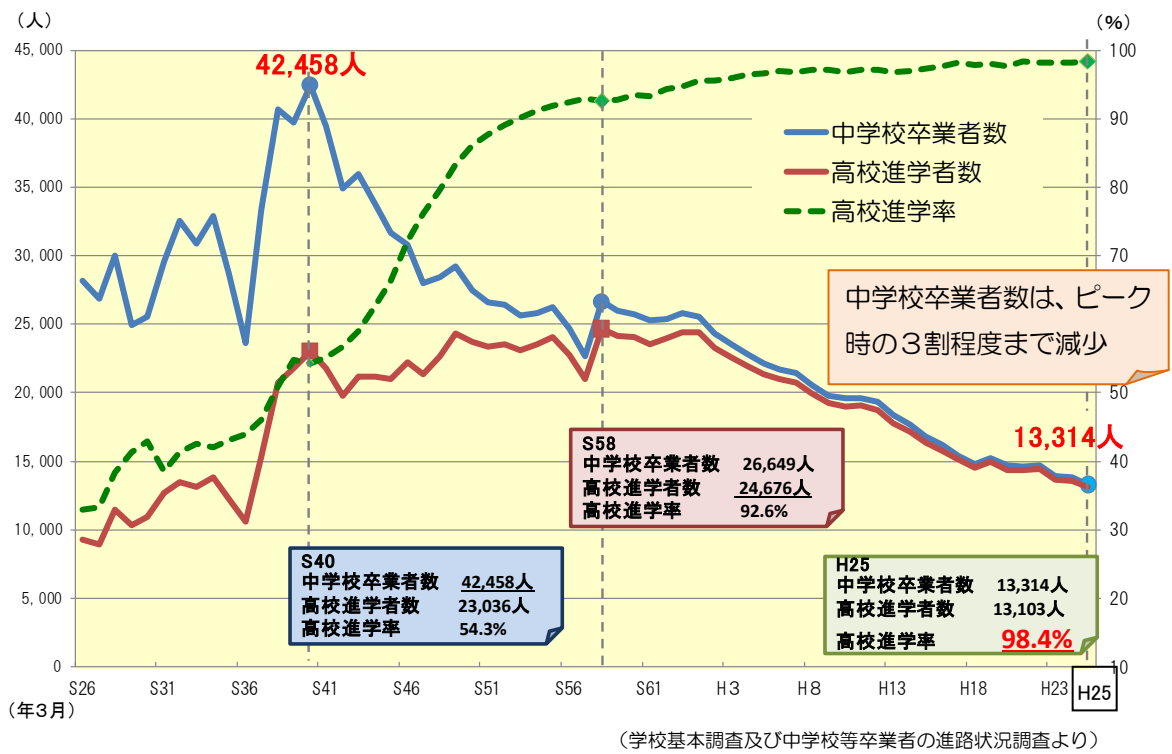
目 次

1	青森県の中学校卒業生数と高校進学率の推移	1
2	高校卒業生の進路状況	1
3	これまでの高等学校教育改革の取組	2
	(1) 県立高等学校教育改革実施計画の変遷	2
	(2) 社会の変化や生徒の個性に応じた多様な教育への対応	3
	(3) 新設学科等の設置目的、設置校	4
	(4) 中学校卒業生数の減少に対応した適正規模・配置等	7
4	高等学校における重点的な取組	11
	(1) キャリア教育の推進	11
	(2) グローバルな志の育成	12
	(3) 進学力の向上	13
	(4) チャレンジする人材の育成	14
5	あおもりの今と未来をつくる人づくり	15
	(1) 青森県教育施策の方針（平成26年1月決定）	15
	(2) 青森県教育振興基本計画（平成26年1月策定）	16
6	今後の生徒数の見込	17
	(1) 中学校卒業（見込）者数の推移	17
	(2) 今後の生徒数の減少と現在の高校の学校規模	17
	(3) 青森県の将来推計人口（15～19歳人口）	18
7	青森県立高等学校将来構想検討会議への諮問事項	18

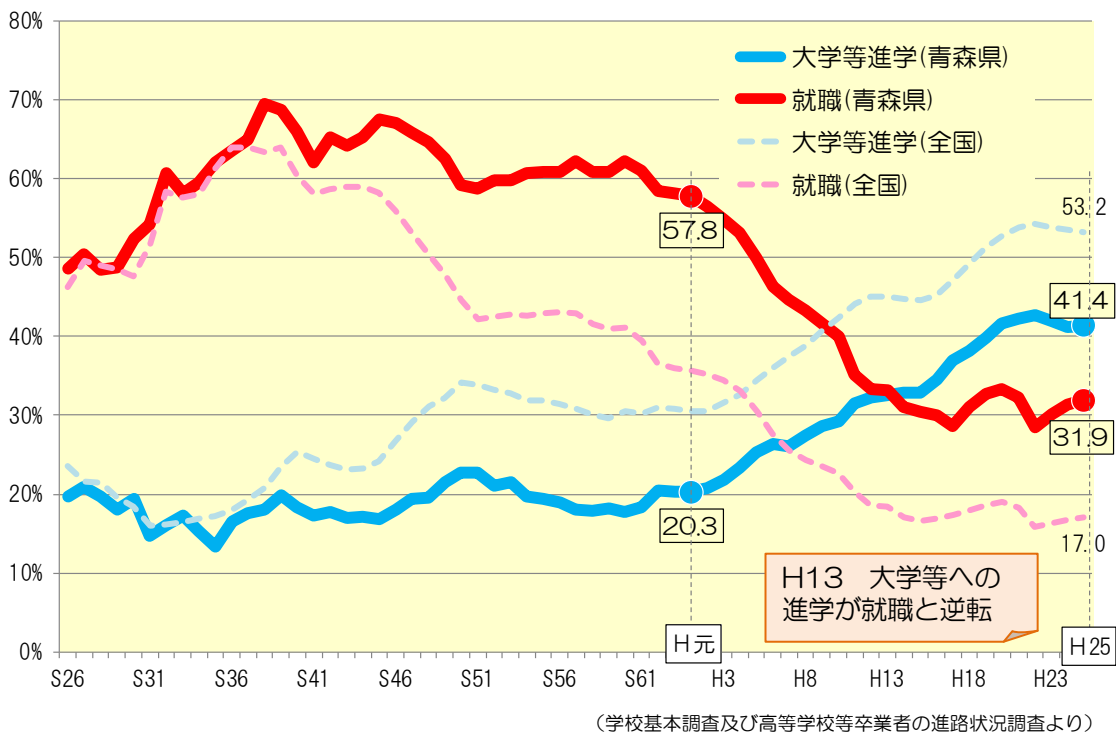
参考資料

1	平成26年度公立高等学校等募集人員及び募集学級数.....	21
2	普通科等・総合学科・職業教育を主とする専門学科の割合.....	23
	(1)青森県の状況.....	23
	(2)全国の状況.....	23
	(3)本県を除く東北5県の状況.....	23
3	高等学校の募集定員と1年在籍生徒数との乖離（定員割れ）の状況（市部・町村別）.....	24
4	第1次進路志望状況調査の状況.....	24
	(1)市部・町村部別倍率の推移.....	24
	(2)第1次進路志望状況調査（学科別、学校規模別、市部・町村部別、地区別）の倍率の推移.....	25
5	学校規模による教育活動の違い.....	26
	(1)学校規模による開設科目数等の状況.....	26
	(2)学校規模別の科目開設の状況（理科）.....	26
	(3)学校規模別の部活動の設置状況.....	26
6	高校卒業後の進路状況.....	27
	(1)青森県全体.....	27
	(2)普通科等.....	27
	(3)農業科.....	28
	(4)工業科.....	28
	(5)商業科.....	29
	(6)水産科.....	29
	(7)家庭科.....	30
	(8)看護科.....	30
	(9)総合学科.....	31
7	中学校卒業生数の推移及び見込み.....	32
8	次期計画において学級減のみで対応した場合の学校規模の見込.....	32

1 青森県の中学校卒業生数と高校進学率の推移



2 高校卒業生の進路状況



3 これまでの高等学校教育改革の取組

(1) 県立高等学校教育改革実施計画の変遷

平成9～10年度 青森県高等学校教育改革推進検討会議

平成11年2月「21世紀を展望した本県高等学校教育の在り方について」
《多様化への対応、中高一貫教育の導入等 報告》

第1次実施計画(平成12～16年度)

第2次実施計画(平成17～20年度)

平成18～19年度 高等学校グランドデザイン会議

平成19年10月「今後の県立高等学校の在り方について」
《統合を含めた学校配置の見直しの必要性等 答申》

第3次実施計画【前期】(平成21～25年度)

第3次実施計画【後期】(平成26～29年度)

《第3次実施計画策定の4つの視点》

①教育内容・方法の充実・改善

②適正な学校規模・配置

③学科・コース等の再編整備

④学校種間の連携や地域の様々な教育資源の活用

(2) 社会の変化や生徒の個性に応じた多様な教育への対応（平成12年度以降）

① 多様な学科の設置

	普通科系の 専門学科	職業教育を主とする 専門学科	総合学科
H12	スポーツ科学科（青森北高校）	動物科学科（三本木農業高校）	
H13	スポーツ科学科（弘前実業高校、 八戸西高校）		
H14			大湊高校
H15	美術科（青森戸山高校～H24） 表現科（八戸東高校）		青森中央高校 木造高校
H17			木造高校深浦校舎
H18		生物生産科（五所川原農林高校、名久井農業高校） 園芸科学科（名久井農業高校） 植物科学科（三本木農業高校）	
H20		生物生産科（柏木農業高校） 環境工学科（柏木農業高校）	
H22		森林科学科（五所川原農林高校） 環境土木科（五所川原農林高校、三本木農業高校） 食品科学科（五所川原農林高校）	
H23		都市環境科（青森工業高校） 機械・エネルギー科（十和田工業高校） 設備・エネルギー科（むつ工業高校）	
H25		環境システム科（名久井農業高校） 土木建築科（八戸工業高校）	

② 多様な制度の導入

	全日制 普通科 単位制	総合 選択制	中高一貫 教育	定時制 三部制	通信制の再編	くくり募集
H13			連携型 （田子高校）			
H14		弘前実業高校	連携型 （大湊高校 ～H25）			
H16	青森東高校					
H18	八戸北高校			北斗高校 八戸中央高校		
H19			併設型 （三本木高校）			
H20	弘前南高校					
H22						商業科と情報処理科 （青森商業高校、黒石商 業高校、三沢商業高校）
H25				尾上総合高校	北斗高校の分室か ら本校に再編 （八戸中央高校、 尾上総合高校）	
H26						普通科と理数科 （五所川原高校）

(3) 新設学科等の設置目的、設置校

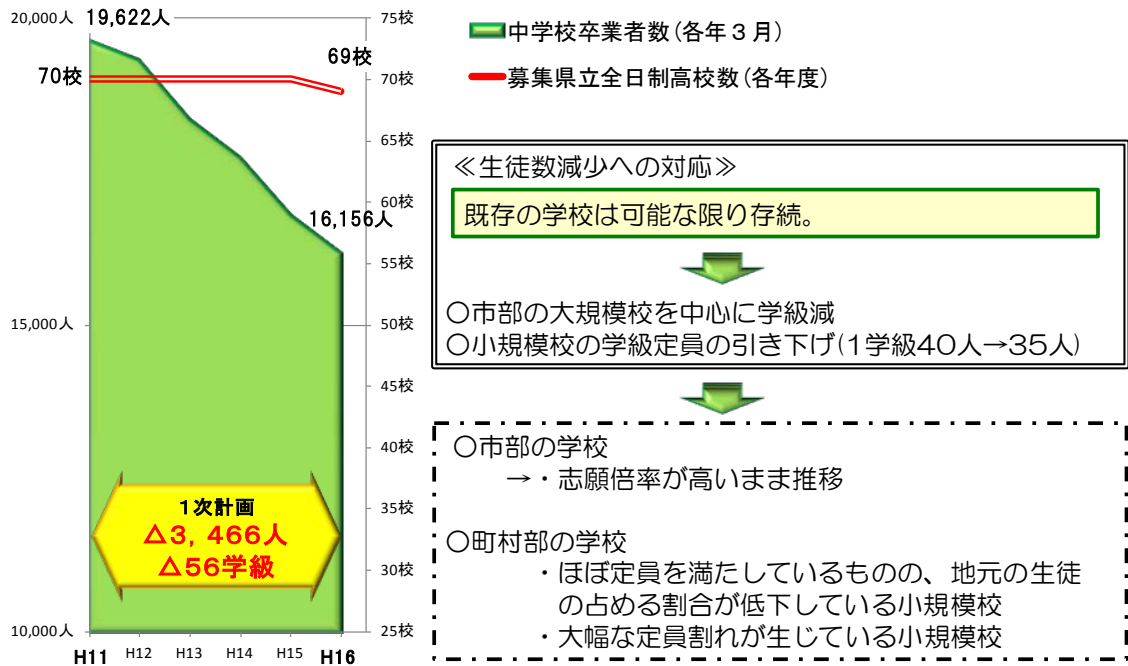
設置目的等		設置校
普通科系の専門学科		
理数科	数学、理科の教科・科目の学習に重点を置き、専門的な学習を推進。	八戸北高校（S44～H19） 三本木高校（S48～H23） 五所川原高校（H7～）
人文科	国語、社会、英語等の学習に重点を置き、専門的な学習を推進。	青森西高校（H5～H23） 弘前中央高校（H7～H23） 八戸東高校（H7～H16）
英語科	総合的な英語の学力を高め、生徒の進路志望達成を図る。国際的視野から活躍できる人材を育成。	三沢高校（H5～） 黒石高校（H6～H19） 田名部高校（H7～）
外国語科	英語を中心にロシア語等に関する科目も履修。 総合的な語学力の伸張を図り、国際的に活躍できる人材を育成。	青森南高校（H6～）
スポーツ科学科	体育・スポーツに関する教科・科目の学習に重点を置き、体育・スポーツの振興に寄与できる人材を育成。	青森北高校（H12～） 弘前実業高校（H13～） 八戸西高校（H13～）
表現科	表現に関する専門的な学習を通して積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度を養いながら、豊かな情操と創造性を育成。	八戸東高校（H15～）
美術科	美術に関する専門的な学習を通して、感性や創造的な表現と鑑賞の能力を高め、芸術文化の発展と創造に寄与する意欲と態度を育成。	青森戸山高校（H15～H24）
農業科		
食品科学科	食品の製造・分析及び流通・情報に関する科学的知識と技術を習得させ、食品にかかわる業務に必要な能力と態度を育成。	柏木農業高校（H11～） 五所川原農林高校（H22～）
動物科学科	従来畜産教育の領域を拡大し、牛・豚・鶏等の産業動物の他に、馬や愛玩動物等の社会動物の領域を新たに加え、専門的な学習を推進。	三本木農業高校（H12～）

生物生産科	農業生産に関する知識・技術とともに、環境保全型農業や植物バイオテクノロジー等について学習。	五所川原農林高校（H18～） 名久井農業高校（H18～） 柏木農業高校（H20～）
園芸科学科	果樹・草花等の生産、園芸福祉について学習。	名久井農業高校（H18～）
植物科学科	作物生産や植物バイオテクノロジー、施設園芸等について学習。	三本木農業高校（H18～）
環境工学科	農業機械や造園、環境保全型農業などに関して学習。	柏木農業高校（H20～）
森林科学科	森林の育成とともに、森林環境保全や林産資源活用についても学習。	五所川原農林高校（H22～）
環境土木科	農業土木とともに、地域環境の保全等についても学習	五所川原農林高校（H22～） 三本木農業高校（H22～）
環境システム科	農業科の中で、工業の科目や経営に必要な科目を学習。	名久井農業高校（H25～）
工業科		
都市環境科	土木に関する教育内容に加え、環境保全技術など環境やエネルギーについても学習。	青森工業高校（H23～）
機械・エネルギー科	機械に関する教育内容に加え、電気自動車や燃料電池、太陽光など環境やエネルギーについても学習。	十和田工業高校（H23～）
設備・エネルギー科	設備に関する教育内容に加え、地熱や太陽光などを利用した設備のしくみなど、環境やエネルギーについても学習。	むつ工業高校（H23～）
土木建築科	土木に関する教育内容を学習する土木コースと建築に関する教育内容を学習する建築コースを設置。	八戸工業高校（H25～）
総合学科		
<p>普通教育を主とする学科である「普通科」、専門教育を主とする学科である「専門学科」に並ぶ学科として制度化。</p> <p>生徒の主体的な選択による学習を通して、将来の生き方や進路に関する自覚を深め、職業観を育成。</p>		<p>七戸高校（H8～）</p> <p>尾上総合高校（H11～H24：H25 定時制に転換）</p> <p>大湊高校（H14～）</p> <p>青森中央高校（H15～）</p> <p>木造高校（H15～）</p> <p>木造高校深浦校舎（H17～）</p>

全日制普通科単位制		
	全日制普通科において学年による教育課程の区分を設けず、決められた単位を修得すれば、卒業が認められる制度。生徒の選択による主体的な学習を通して、大学進学等の進路希望の達成を図る。	青森東高校（H16～） 八戸北高校（H18～） 弘前南高校（H20～）
総合選択制		
	在籍する学科内の科目選択にとどまらず、生徒の興味・関心や進路選択に応じて、他の学科の科目を選択。	弘前実業高校（H14～）
中高一貫教育		
連携型	設置者の異なる中学校と高等学校が連携し、6年間にわたり計画的・継続的な教育活動を行う。	田子高校（H13～） 大湊高校（H14～H25）
併設型	同一の設置者による中学校と高等学校を接続し、6年間の計画的かつ継続的な一貫した教育指導を行う。	三本木高校（H19～）
定時制三部制		
	午前、午後、夜間等の時間帯で授業を行い、仕事の時間や学習スタイルに合わせて、他の部の授業を受けることなどにより、3年での卒業も可能となる。	北斗高校（H18～） 八戸中央高校（H18～） 尾上総合高校（H25～）
通信制の再編		
	望ましい指導体制に向け、八戸中央高校及び尾上総合高校に設置していた北斗高校通信制課程の分室をそれぞれ当該校の通信制課程に再編。	北斗高校（H11～） 八戸中央高校（H25～） 尾上総合高校（H25～）
くくり募集		
	柔軟な学科選択に対応するため、学校の実情に応じて、複数の学科を一括して募集。	<商業科と情報処理科> 青森商業高校（H22～） 黒石商業高校（H22～） 三沢商業高校（H22～） <普通科と理数科> 五所川原高校（H26～）

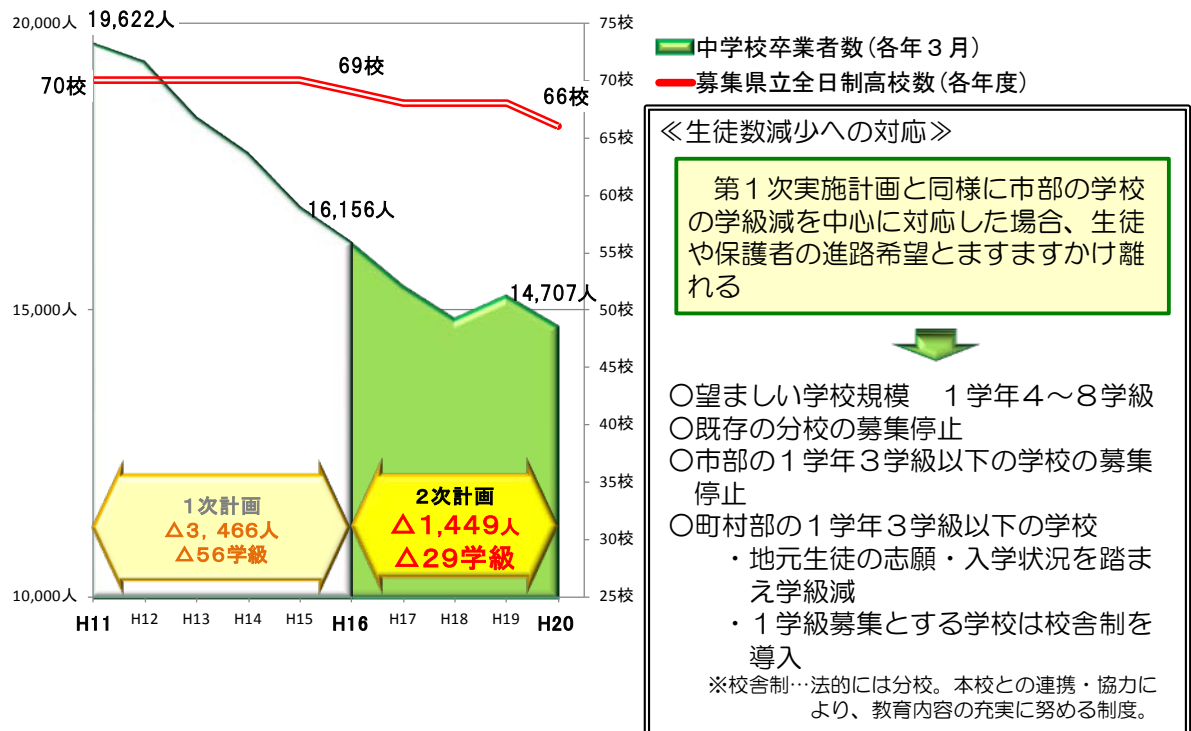
(4) 中学校卒業生数の減少に対応した適正規模・配置等

①第1次実施計画 (H12~H16)



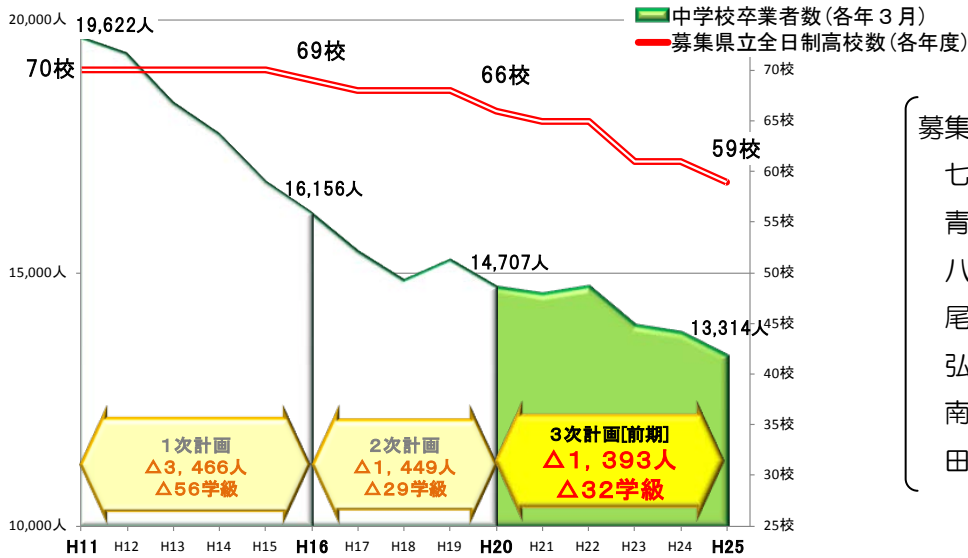
[募集停止：木造高校車力分校]

②第2次実施計画 (H17~H20)



[募集停止：野辺地高校横浜分校、木造高校稲垣分校、五所川原高校東校舎]

③第3次実施計画【前期】(H21~H25)



募集停止：
 七戸高校八甲田校舎、
 青森戸山高校、
 八戸南高校、
 尾上総合高校、
 弘前南高校大鱈校舎、
 南部工業高校、
 田名部高校大畑校舎

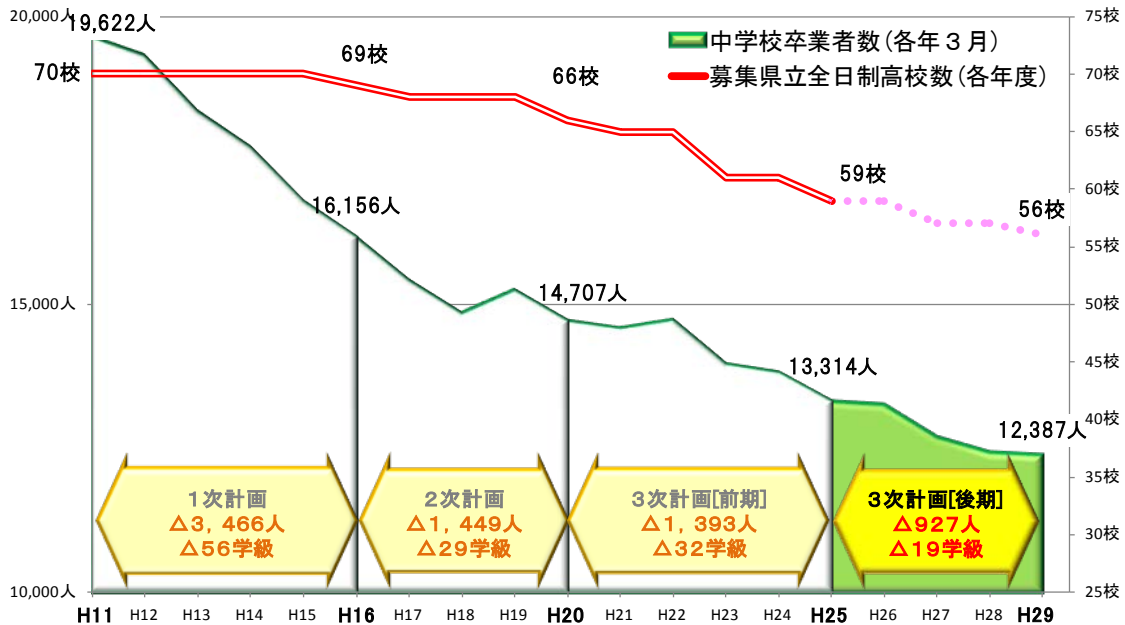
《生徒数減少への対応》

- ・活力ある教育活動を維持するためには一定規模以上の学校であることが望ましいというこれまでの方向性を踏襲。
- ・地域の様々な実情等を考慮した上で、統合を含めた適正な学校規模配置を進める。

↓

<p>○望ましい学校規模</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 3市の普通高校 1学年6学級以上 ・ その他の高校 1学年4学級以上 	<p>○学校配置の方向性</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 望ましい学校規模になるよう6地区毎に配置 ・ 校舎制導入校は計画的に募集停止 ・ 統合は同じ分野の高校を優先
--	---

④第3次実施計画【後期】(H26~H29)



《生徒数減少への対応》

第3次実施計画【前期】と同様の基本的な考え方に基づき対応

《後期計画策定に当たっての留意点》

- これまでの状況や中学校卒業予定者数の推移により望ましい学校規模にならない場合があること
- 他の県立高校に通学することが困難な地域があること
- 平成30年度以降に生徒数の急激な減少が見込まれること等を考慮し、柔軟な学校配置とする。

(学校基本調査及び
 県教育庁高等学校教育改革推進室推計)

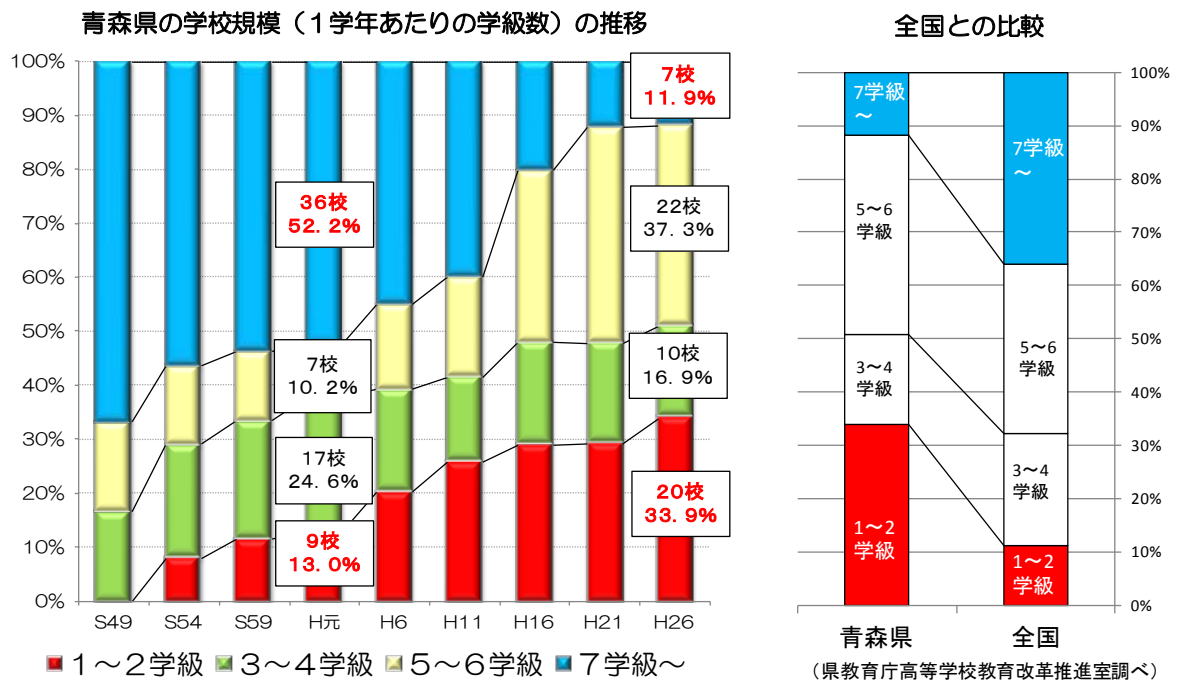
募集停止予定：
 岩木高校、
 八戸北高校南郷校舎、
 弘前実業高校
 藤崎校舎

⑥平成26年度県立全日制高等学校募集学級別一覽

募集学級数	東青	西北	中南	上北	下北	三八	学校数
7学級	青森 青森東 青森工業		弘前 弘前工業 弘前実業			八戸工業	7校
6学級	青森西 青森北 青森南 青森中央 青森商業		弘前中央 弘前南	三本木 三沢 三本木農業		八戸 八戸東 八戸北 八戸西	14校
5学級		五所川原 木造 五所川原農林		十和田工業 三沢商業	田名部 大湊 むつ工業		8校
4学級		五所川原工業	黒石 柏木農業 黒石商業	野辺地 七戸 百石		八戸水産 八戸商業	9校
3学級						名久井農業	1校
2学級	浪岡	鱒ヶ沢 板柳 金木 鶴田	岩木	十和田西 六戸 六ヶ所	大間	五戸 三戸 田子	13校
1学級	青東平内 青北今別	木造深浦 中里	弘実藤崎		大湊川内	八北南郷	7校
学校数	11校	10校	10校	11校	5校	12校	59校
学級数	55学級	29学級	48学級	46学級	18学級	49学級	245学級

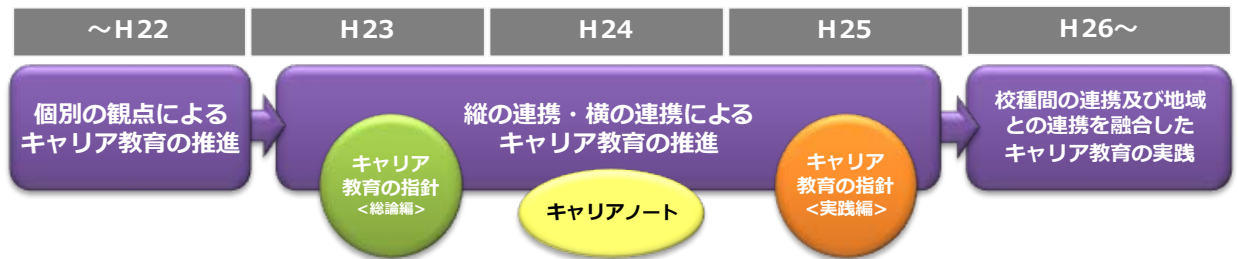
⑦学校規模の推移

小規模化の傾向。
全国と比較すると、1～2学級と
7学級以上の割合が逆転。



4 高等学校における重点的な取組

(1) キャリア教育の推進



①キャリア教育のねらい … 将来、社会的・職業的に自立し、社会の中で自分の役割を果たしながら、自分らしい生き方ができる人間を育てる。

②高等学校におけるキャリア教育

授業、学校行事等の教育活動全体を通じて、社会的・職業的自立のために必要な力を身につけている。

- 将来の職業を意識した企業見学
- 就業体験活動（インターンシップ）
- 職業人として必要な意識・態度を学ぶための職業講話

等

<小・中学校や大学、地域社会等と連携した取組>

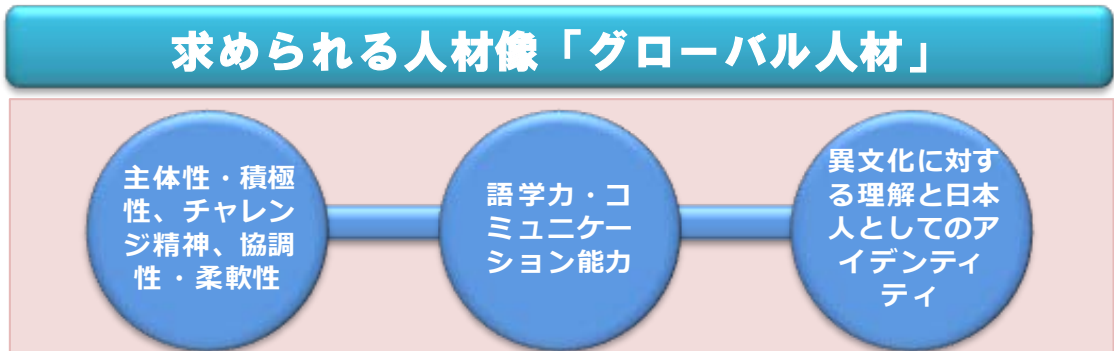
- 高校体験入学等で、高校生自らが学ぶ意義や喜びを中学生に対して伝える取組
- 高校生による小学生への授業体験
 - ・教室での学習指導、体育の運動指導等
- 農業高校における幼稚園・小学生を対象とした農業体験
- 工業高校における小中学校を対象としたものづくり体験教室
- 高校生による小学生を対象としたパソコンの簡単な表計算演習
- 工業高校における職業能力開発大学校と連携した技術習得
- 町の企画で地元食材を使った弁当を小・中・高校連携で作成・販売
- 工業高校において市と連携して改造電気自動車を製作、車検取得
- 一般の方を対象に商業科の生徒が指導者となる日商簿記3級講習会

等

◇生徒の学ぶ意欲を高め、自己有用感の醸成につながっている。

◇生徒自身の将来像の具体化につながり、社会的・職業的な自立に向けての意識を高めている。

(2) グローバルな志の育成



スーパーサイエンスハイスクール (SSH)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 八戸北高校 (H17~) ・ 三本木高校 (H22~) 	ねらい	理科・数学に重点を置いたカリキュラムのもとで、大学や研究機関等との連携を図りながら、 将来有為な科学技術系人材の育成 をはかる。
		成果	理科・数学の発展的知識を身に付けると同時に、課題研究を通じて英語力やプレゼンテーション能力を向上させ、学問探究の姿勢を向上させている。
スーパーグローバルハイスクール (SGH)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 青森高校 (H26~) 	ねらい	学校が設定したプログラムにもとづき、コミュニケーション能力、課題解決能力等の国際的素養を身に付けた 国際的に活躍できるグローバル・リーダー を育成する。
		成果	今年度から始まる事業であり、今後、国際的な視野で社会課題を探求する態度が養われるものと期待される。
国際交流	<ul style="list-style-type: none"> ・ 青森南高校 ・ 三沢高校 ・ 田名部高校 等 	ねらい	外国姉妹校等との交流、外国における短期研修などを通して 視野と教養を広げ、語学の習得 をはかる。
		成果	外国語について、聞く力・話す力を向上させるとともに、異文化に触れることで視野を広げ、郷土を客観的に見る姿勢が身に付いている。

(3) 進学力の向上

「医師を志す高校生支援事業」

医学部医学科を目指す高校生の支援

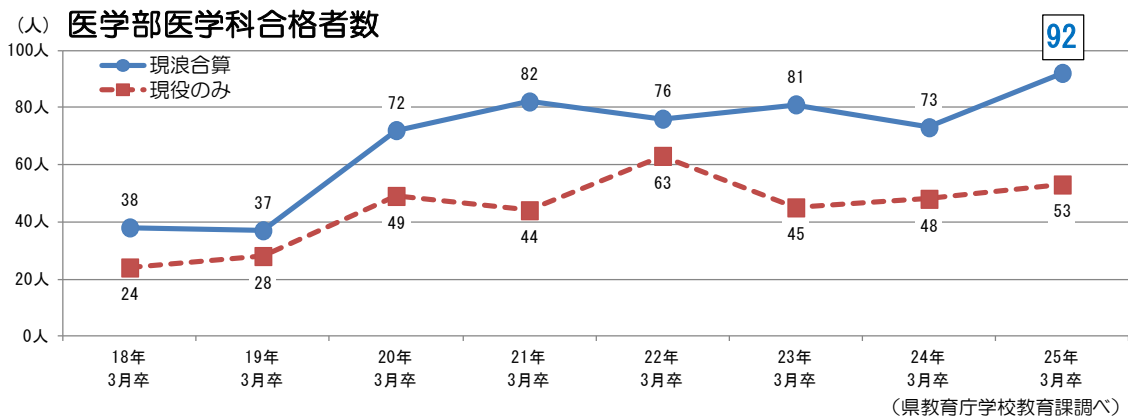
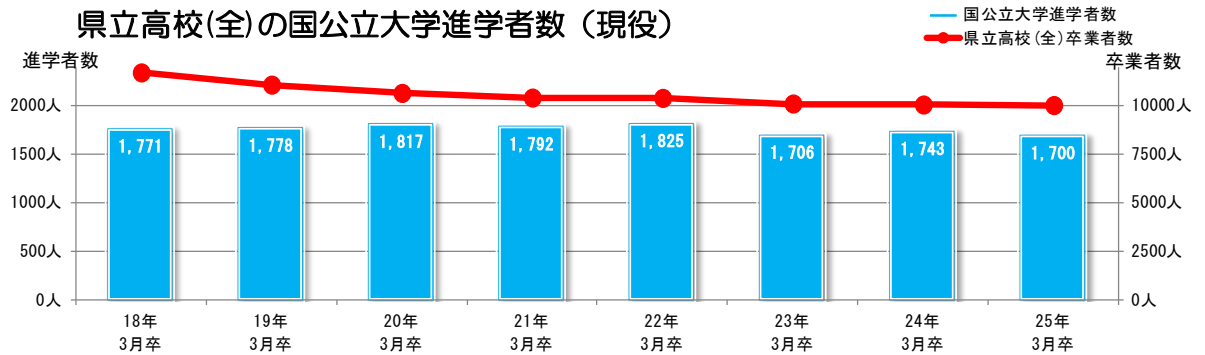
～ 外部講師による「学力向上セミナー」の実施 ～

【H25参加校】

東青・下北地区 … 青森高校、青森東高校、青森南高校、青森山田高校、
田名部高校

西北・中南地区 … 弘前高校、弘前中央高校、弘前南高校、五所川原高校

三八・上北地区 … 八戸高校、八戸北高校、八戸西高校、三本木高校、
八戸工業大学第二高校



(4) チャレンジする人財の育成

① 資格取得等の支援

青森県内の各高校において資格試験・検定試験合格に向けた取組が行われています。

専門的な資格取得等への取組

- 危険物 ○測量士補 ○土木施工管理技術 ○電気工事士
- 技能検定機械保全 ○溶接 ○旋盤加工技能士
- 配管技能士 ○X線作業主任者 ○放射線取扱主任者
- 日商簿記 ○基本情報技術者 ○電卓検定 ○ワープロ検定
- 看護師 ○調理師免許 ○潜水土 等

教科に関する検定等への取組

- 実用英語技能検定 ○実用数学技能検定
- 等



② 各専門学科の特色を生かした実践的取組

- 農業の6次産業化を目指した取組（五所川原農林高校）
- 犬の殺処分ゼロを目指す「命の花プロジェクト」（三本木農業高校）
- 風力、地熱、水力の発電システム整備（むつ工業高校）
- 自立型ロボットの製作（弘前工業高校）
- 税理士・公認会計士を目指した大学と連携した取組（三沢商業高校）
- 等

< 市内ベンチャー制度による取組 >

- ◇未来創出りんごプロジェクト事業（H26～27：柏木農業高校）
[県産品PRやバイオマス資源の有効活用についての研究・開発]
- ◇青森県産天然ヒラメの付加価値向上作戦事業（H23～24：八戸水産高校）
[ヒラメの付加価値向上を目的とした技術研究、市場ニーズ調査等の実施]
- ◇ハイテク・ローテクによるクールアイランドの創造チャレンジ事業（H20～21：十和田工業高校）
[施設の温度上昇抑止を課題とした冷却パネル、管理システム等の開発等]
- ◇元気あおもり柏農発ハイテク農業プロジェクト事業（H19～20：柏木農業高校）
[自然エネルギーとLEDを活用した野菜等の栽培技術の確立、空き教室を有効活用した閉鎖型野菜工場の実証]

※「市内ベンチャー制度」…提案者が企画立案し、県が採択した事業を自らが中心となって実施する制度

5 あおもりの今と未来をつくる人づくり

(1) 青森県教育施策の方針（平成26年1月決定）

青森県教育委員会は、郷土に誇りを持ち、多様性を尊重し、創造力豊かで、新しい時代を主体的に切り拓く人づくりを目指します。このため、

夢や志の実現に向け、知・徳・体を育む学校教育
学びを生かし、つながりをつくり出す社会教育
次代へ伝える、かけがえのない文化財の保存・活用
活力、健康、感動を生み出すスポーツ
を、市町村教育委員会、家庭や地域社会との連携を図りながら推進します。

(2) 青森県教育振興基本計画（平成26年1月策定）

（青森県基本計画未来を変える挑戦の「教育・人づくり分野」）

① 2030年における青森県のめざす姿

- 夢や志の実現に向かって挑戦する青森県民
- 社会全体で育む「生きる力」
- 人が育ち、磨かれ、活躍する青森県
- 生きがいを感じ、心豊かに暮らせる地域
- 歴史・文化が息づく青森県
- スポーツが盛んな青森県

② 教育政策・施策の体系

《あおもりの未来をつくる人財の育成》

- ① 青森を理解し青森を発信できる人づくり
- ② 一人ひとりが輝く「知・徳・体」の調和のとれた人づくり
- ③ 一人ひとりの教育的ニーズに応じた特別支援教育の推進
- ④ 安全・安心で子どもの多様な個性と能力を伸ばす教育環境の整備
- ⑤ 夢や志を持ち、想像力豊かなたくましい人づくり
- ⑥ 学校・家庭・地域が連携し社会全体で取り組む「生きる力」の育成

《あおもりの今をつくる人財の育成》

- ① 活力ある地域づくりのための人づくり
- ② 豊かな学びと社会参加活動の拡大

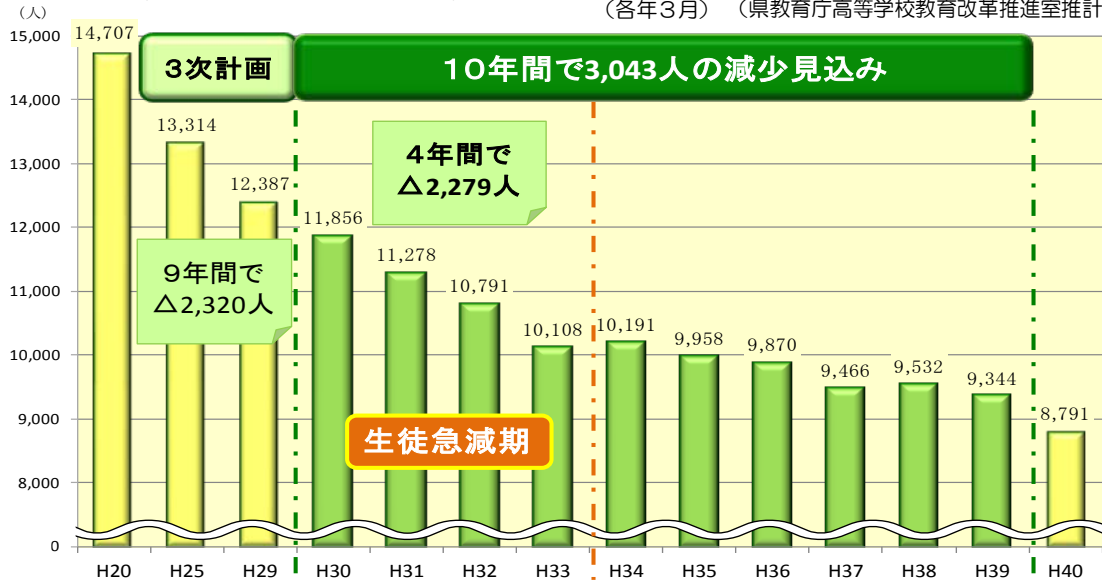
《あおもりの今と未来をつくる文化・スポーツの振興》

- ① 歴史・文化の継承と発信
- ② 豊かなスポーツライフの実現

6 今後の生徒数の見込

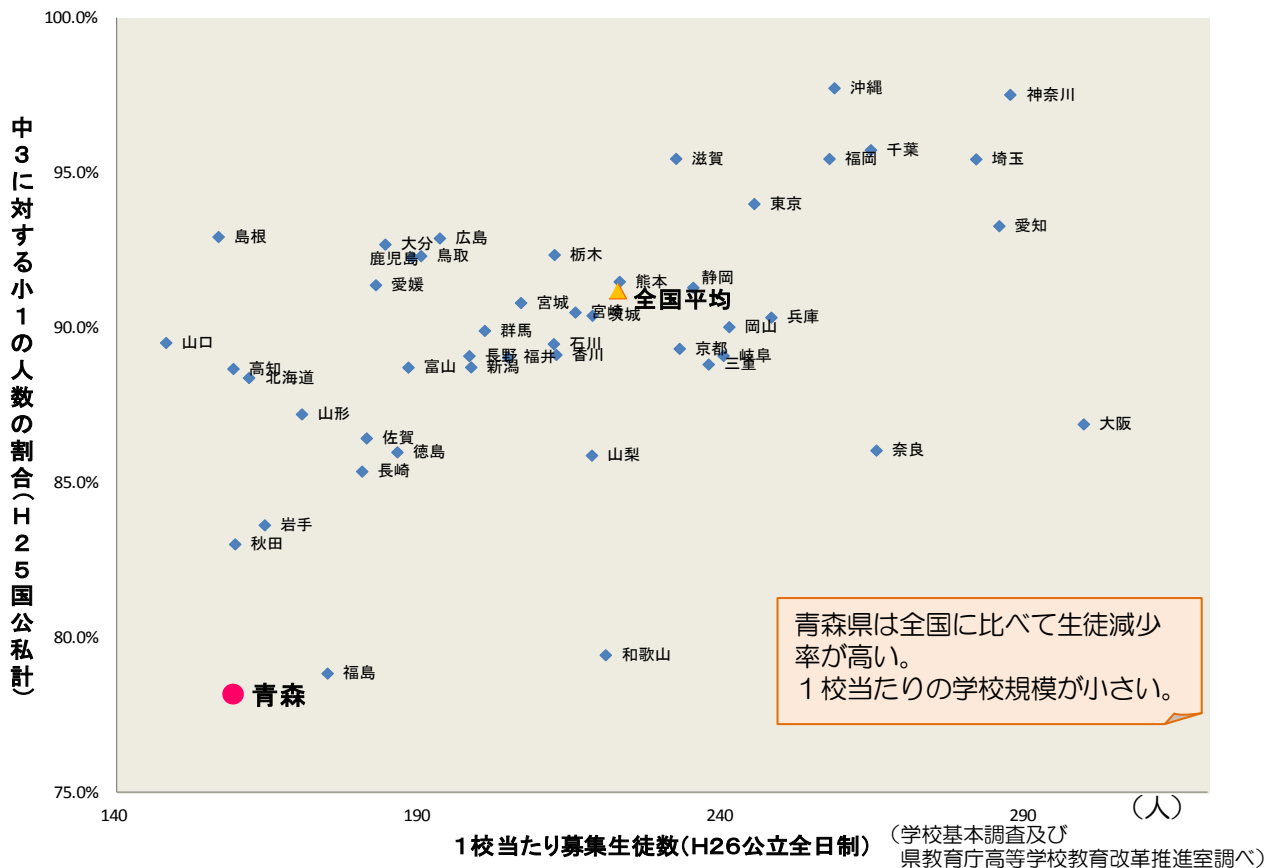
(1) 中学校卒業（見込）者数の推移

（各年3月）（県教育庁高等学校教育改革推進室推計）



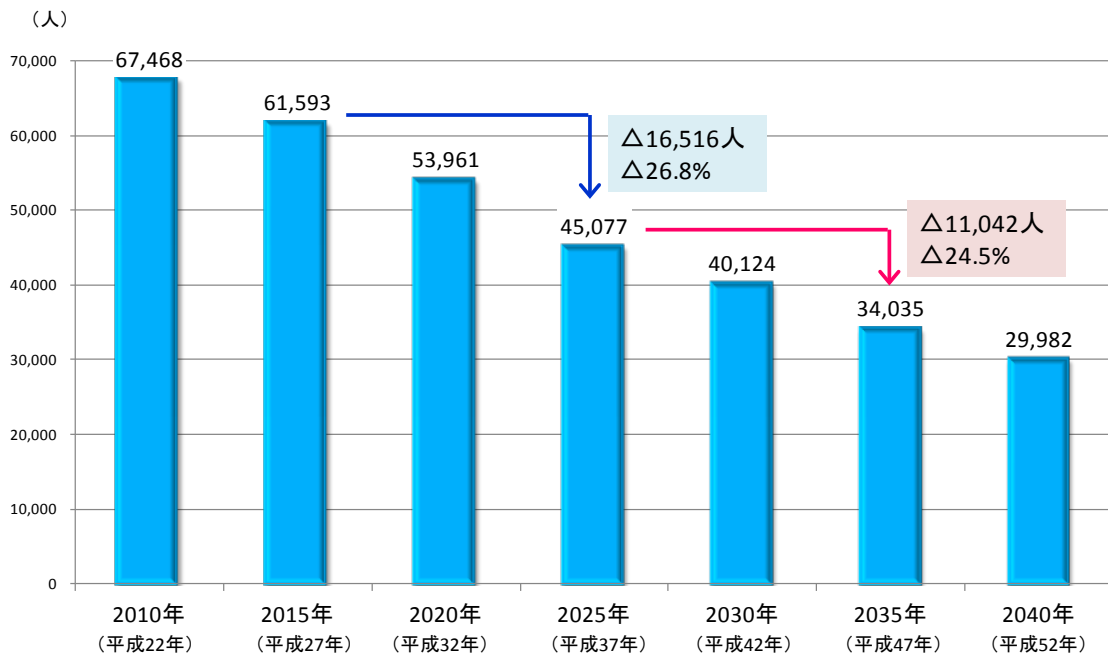
平成30年度から33年度まで、毎年500人程度減少する生徒急減期。この4年間の減少は、3次計画の9年間の減少数に匹敵。

(2) 今後の生徒数の減少と現在の高校の学校規模



※縦軸…平成25年度の中学校3年生（H26 高校入学生）の人数を100%とした場合の小学校1年生（H34 高校入学生）の割合。数値が低いほど、減少率が高い。
 横軸…各都道府県の公立全日制高校募集人員÷学校数＝1校当たりの募集人員の平均人数。数値が低いほど学校規模が小さい。

(3) 青森県の将来推計人口（15～19歳人口）



「日本の地域別将来推計人口」
 (平成25年3月推計: 国立社会保障・人口問題研究所公表数値)

7 青森県立高等学校将来構想検討会議への諮問事項

社会の変化や生徒の急激な減少に対応し、
 夢や志の実現に向けた知・徳・体を育むための
 県立高等学校の在り方について、
 中・長期的視点での検討が必要

諮
問
事
項

- 1 社会の変化や生徒の多様な進路志望に対応した学校・学科の在り方について
- 2 夢や志の実現に向けた教育活動に必要な高等学校の規模・配置について
- 3 各地区の学校配置等に関する基本的な方向性について

参 考 资 料

1 平成26年度公立高等学校等募集人員及び募集学級数

(全日制)

学校別・学科別		募集人員	学級数	
東	青森 普通科	280	7	
	青森西 普通科	240	6	
	青森東 普通科	280	7	
	平内校舎 普通科	40	1	
	青森北	普通科	200	5
		スポーツ科学科	40	1
		計	240	6
	今別校舎 普通科	40	1	
	青森南	普通科	200	5
		外国語科	40	1
	計	240	6	
青森中央 総合学科	240	6		
浪岡 普通科	70	2		
青	青森工業	機械科	35	1
		電子機械科	35	1
		電気科	35	1
		電子科	35	1
		情報技術科	35	1
		建築科	35	1
		都市環境科	35	1
			計	245
	青森商業	商業科	200	5
		情報処理科	40	1
	計	240	6	
西	五所川原	普通科	160	4
		理数科	40	1
		計	200	5
	金木 普通科	70	2	
	木造 総合学科	200	5	
	深浦校舎 総合学科	40	1	
	鯡ヶ沢 普通科	70	2	
板柳 普通科	70	2		
鶴田 普通科	70	2		
中里 普通科	40	1		
北	五所川原農林	生物生産科	35	1
		森林科学科	35	1
		環境土木科	35	1
		食品科学科	35	1
		生活科学科	35	1
	計	175	5	
五	五所川原工業	機械科	35	1
		電子機械科	35	1
		電気科	35	1
		情報技術科	35	1
	計	140	4	

学校別・学科別		募集人員	学級数	
中	弘前 普通科	280	7	
	弘前中央 普通科	240	6	
	弘前南 普通科	240	6	
	岩木 普通科	70	2	
	黒石	普通科	120	3
		看護科	40	1
		計	160	4
	柏木農業	生物生産科	35	1
		環境工学科	35	1
		食品科学科	35	1
生活科学科		35	1	
	計	140	4	
弘前工業	機械科	35	1	
	電気科	35	1	
	電子科	35	1	
	情報技術科	35	1	
	土木科	35	1	
	建築科	35	1	
	インテリア科	35	1	
		計	245	7
弘前実業	農業経営科	40	1	
	商業科	80	2	
	情報処理科	40	1	
	家庭科学科	40	1	
	服飾デザイン科	40	1	
	計	280	7	
藤崎校舎 りんご科	40	1		
黒石商業	商業科	80	2	
	情報処理科	40	1	
	情報デザイン科	40	1	
	計	160	4	
上	三本木 普通科	240	6	
	十和田西	普通科	35	1
		観光科	35	1
		計	70	2
	三沢	普通科	200	5
		英語科	40	1
		計	240	6
	野辺地 普通科	160	4	
	七戸 総合学科	160	4	
	六戸 普通科	70	2	
百石	普通科	120	3	
	食物調理科	40	1	
	計	160	4	
六ヶ所 普通科	70	2		
三本木農業	植物科学科	35	1	
	動物科学科	35	1	
	農業機械科	35	1	
	環境土木科	35	1	
	農業経済科	35	1	
	生活科学科	35	1	
	計	210	6	
十和田工業	機械・エネルギー科	35	1	
	電子機械科	35	1	
	電気科	35	1	
	電子科	35	1	
	建築科	35	1	
	計	175	5	
三沢商業	商業科	160	4	
	情報処理科	40	1	
	計	200	5	

学校別・学科別			募集人員	学級数	
下 北 む つ	田名部	普通科	160	4	
		英語科	40	1	
		計	200	5	
	大湊	総合学科	200	5	
	川内校舎	普通科	40	1	
	大間	普通科	80	2	
	むつ工業	機械科	35	1	
		電子機械科	35	1	
		電気科	35	1	
		電子科	35	1	
設備・エネルギー科		35	1		
計		175	5		
三 八	八戸	普通科	240	6	
		普通科	200	5	
	八戸東	表現科	30	1	
		計	230	6	
	八戸北 南郷校舎	普通科	240	6	
		普通科	40	1	
	八戸西	普通科	200	5	
		スポーツ科学科	40	1	
	計	240	6		
	三戸	普通科	70	2	
		普通科	70	2	
	五戸	普通科	70	2	
		普通科	70	2	
	田子	名久井農業	生物生産科	35	1
			園芸科学科	35	1
			環境システム科	35	1
			計	105	3
	八戸水産	八戸水産	海洋生産科	35	1
			水産食品科	35	1
			水産工学科	35	1
情報通信科			35	1	
計	140	4			
八戸工業	八戸工業	機械科	35	1	
		電子機械科	35	1	
		電気科	35	1	
		電子科	35	1	
		情報技術科	35	1	
		土木建築科	1		
		土木コース	20		
		建築コース	15		
材料技術科	35	1			
計	245	7			
八戸商業	八戸商業	商業科	80	2	
		国際経済科	40	1	
		情報処理科	40	1	
計	160	4			
合	計	9,385	245		

(定時制)

学校別・学科別			募集人員	学級数
北斗	普通科	午前部	40	1
		午後部	40	1
		夜間部	40	1
		計	120	3
青森工業	工業技術科	夜間部	40	1
五所川原	普通科	夜間部	40	1
金木・市浦	普通科	昼間部	40	1
尾上総合	総合学科	I部	40	1
		II部	40	1
		III部	40	1
		計	120	3
弘前工業	工業技術科	夜間部	40	1
三沢	普通科	夜間部	40	1
田名部	普通科	夜間部	40	1
八戸中央	普通科	午前部	40	1
		午後部	40	1
		夜間部	40	1
		計	120	3
八戸工業	工業技術科	夜間部	40	1
合	計	640	16	

(通信制)

学校別・学科別			募集人員
北斗	普通科		200
尾上総合	普通科		150
八戸中央	普通科		150
合	計		500

(専攻科)

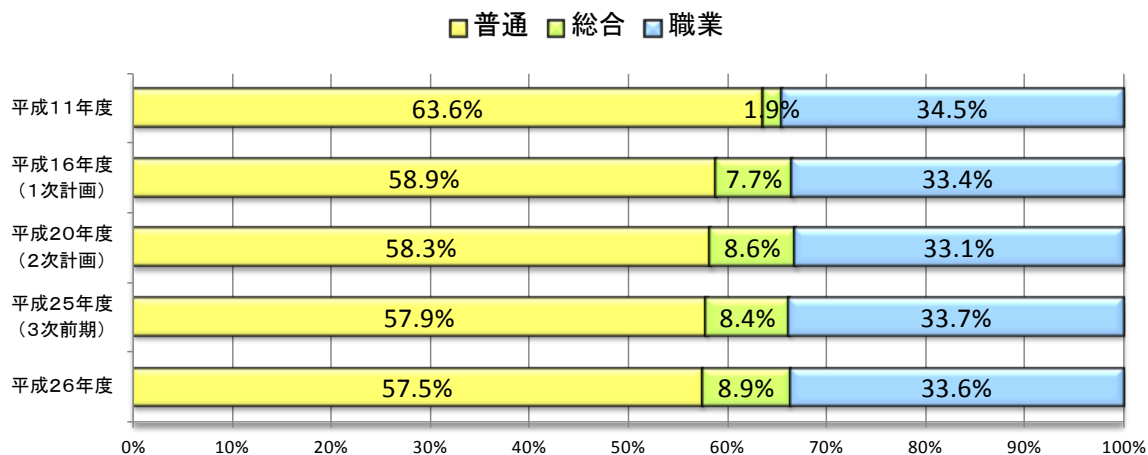
学校名	学科別	募集人員
八戸水産	漁業科	10
	機関科	10
	計	20

(県立中学校)

学校名	募集人員	学級数
青森県立三本木高等学校附属中学校	80	2

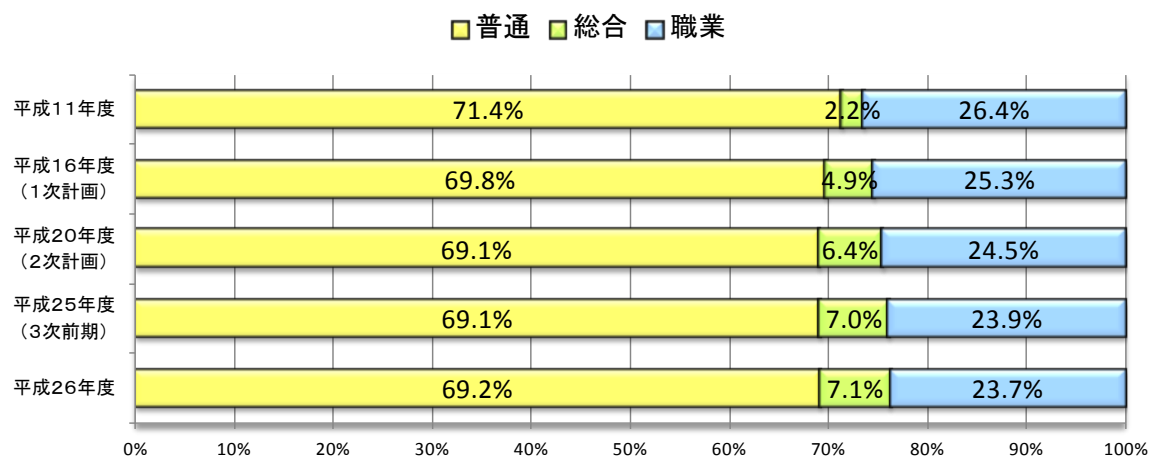
2 普通科等・総合学科・職業教育を主とする専門学科の割合

(1) 青森県の状況

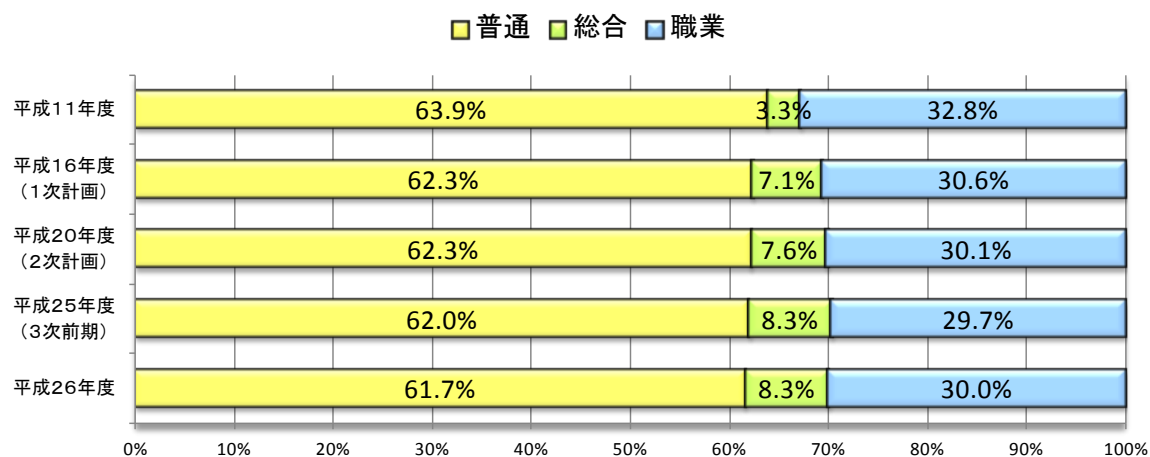


※「普通」…普通科のほか、理数科、英語科、スポーツ科学科等普通科系の専門学科を含む。
 「総合」…総合学科
 「職業」…農業、工業、商業、水産、家庭、看護等職業教育を主とする専門学科

(2) 全国の状況

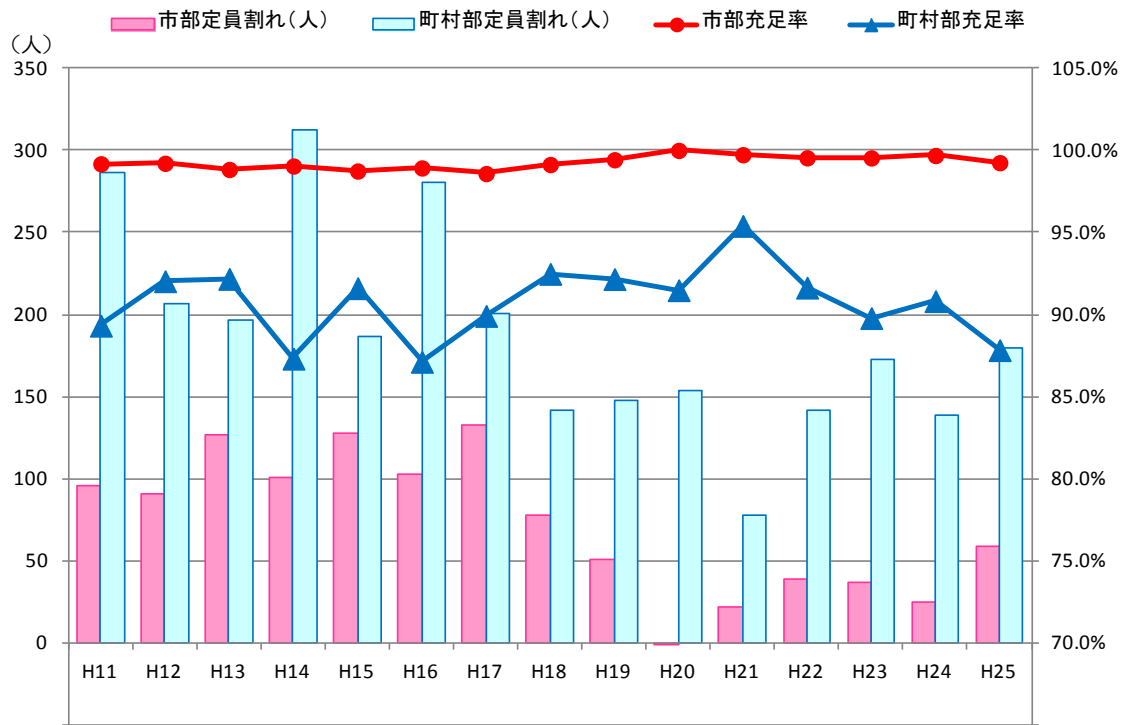


(3) 本県を除く東北5県の状況



(県教育庁高等学校教育改革推進室調べ)

3 高等学校の募集定員と1年在籍生徒数との乖離（定員割れ）の状況（市部・町村別）

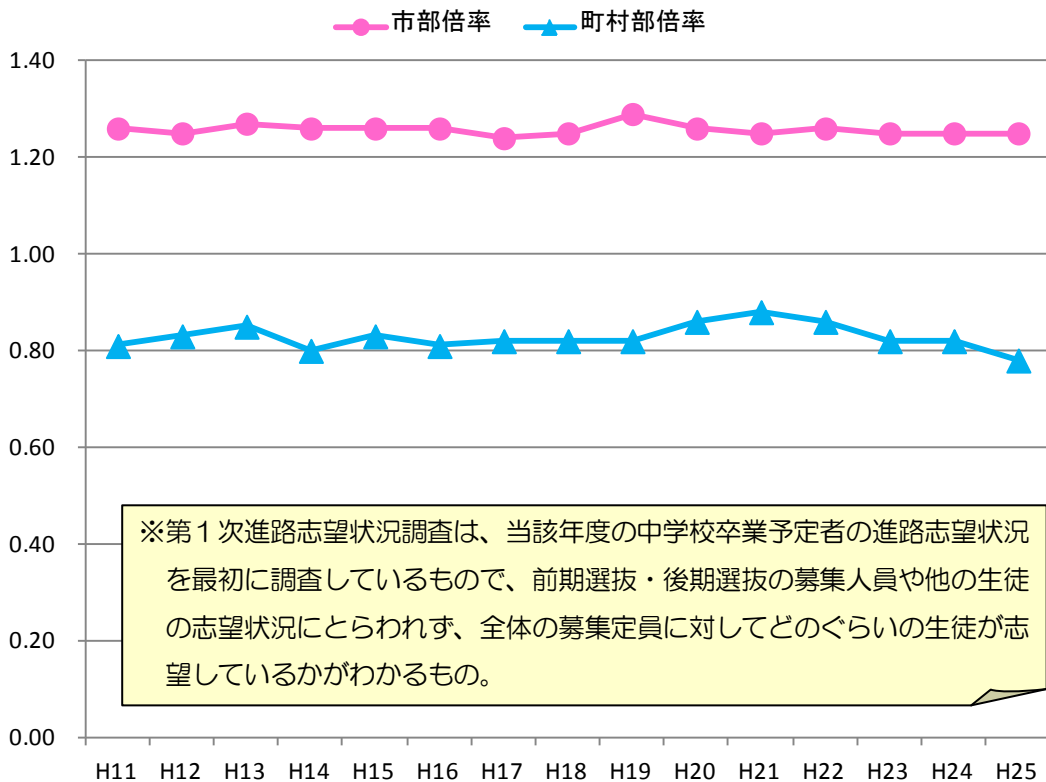


※充足率：1年在籍生徒数／募集人員。 1年在籍生徒数には、原級留置を含む。

(県教育庁高等学校教育改革推進室調べ)

4 第1次進路志望状況調査の状況

(1) 市部・町村部別倍率の推移



※第1次進路志望状況調査は、当該年度の中学校卒業予定者の進路志望状況を最初に調査しているもので、前期選抜・後期選抜の募集人員や他の生徒の志望状況にとらわれず、全体の募集定員に対してどのぐらいの生徒が志望しているかがわかるもの。

(県教育庁高等学校教育改革推進室調べ)

(2) 第1次進路志望状況調査（学科別、学校規模別、市部・町村部別、地区別）
の倍率の推移

	H11	H16	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26
総計	1.18	1.18	1.20	1.19	1.20	1.18	1.19	1.17	1.18

<学科別>

普通	1.15	1.18	1.21	1.20	1.17	1.17	1.14	1.15	1.15
理数	0.96	0.98	0.74	1.16	0.85	0.73	0.98	0.93	
普通・理数									1.09
英語	0.68	0.58	0.58	0.68	0.80	0.60	0.73	0.94	0.75
外国語	1.38	0.70	0.65	0.95	1.00	1.05	0.88	1.28	1.08
美術		1.10	1.00	0.67	0.80				
スポーツ科学		1.37	1.38	1.07	1.38	1.44	1.37	1.31	1.48
人文	1.09	0.80	0.59	0.65					
表現		1.08	1.30	1.47	1.23	1.37	1.17	0.83	1.00
普通科等計	1.14	1.16	1.18	1.18	1.17	1.17	1.14	1.15	1.15
農業	0.80	0.94	1.06	1.26	1.20	1.13	1.19	1.11	1.13
工業	1.46	1.40	1.26	1.30	1.29	1.27	1.33	1.31	1.28
商業	1.20	1.13	1.15	1.11	1.16	1.02	1.16	1.18	1.16
水産	0.99	0.83	1.14	1.16	1.26	1.34	1.06	1.05	1.29
家庭	1.81	1.87	1.65	1.73	1.72	1.61	1.66	1.41	1.65
看護	1.33	1.10	1.43	1.50	1.88	1.95	1.65	1.70	1.60
職業に関する専門学科計	1.24	1.21	1.20	1.25	1.25	1.19	1.26	1.22	1.23
総合学科	1.43	1.23	1.28	1.09	1.22	1.22	1.24	1.16	1.14
県全体	1.18	1.18	1.20	1.19	1.20	1.18	1.19	1.17	1.18

<学校規模別>

1学級規模	0.38	0.63	0.74	0.59	0.65	0.52	0.58	0.54	0.52
2学級規模	0.83	0.77	0.94	0.92	0.94	0.88	0.85	0.89	0.89
3学級規模	0.95	0.94	0.94	1.03	0.93	0.82	0.87	0.91	0.66
4学級規模	0.73	0.92	1.09	1.11	1.09	1.23	1.09	1.07	1.13
5学級規模	1.07	1.20	1.29	1.19	1.21	1.13	1.17	1.24	1.12
6学級規模	1.17	1.34	1.19	1.23	1.24	1.23	1.21	1.21	1.25
7学級規模	1.20	1.17	1.33	1.35	1.37	1.36	1.39	1.37	1.39
8学級規模	1.35	1.50	1.42	1.52	1.49	1.39	1.60	1.36	
9学級規模	1.37								
	1.18	1.18	1.20	1.19	1.20	1.18	1.19	1.17	1.18

<市部・町村部別>

市部	1.26	1.26	1.26	1.25	1.26	1.25	1.25	1.25	1.25
町村部	0.81	0.81	0.86	0.88	0.86	0.82	0.82	0.78	0.80

<地区別>

東青地区	1.17	1.20	1.20	1.19	1.19	1.19	1.22	1.22	1.19
西北地区	1.08	1.06	1.09	1.09	1.12	1.08	1.09	1.01	1.06
中南地区	1.37	1.38	1.38	1.33	1.36	1.31	1.31	1.34	1.33
上北地区	1.08	1.04	1.02	1.07	1.08	1.06	1.03	1.01	1.04
下北地区	1.02	0.96	1.04	1.02	1.03	0.96	1.05	1.08	1.03
三八地区	1.22	1.25	1.28	1.28	1.25	1.29	1.26	1.26	1.26

5 学校規模による教育活動の違い

(1) 学校規模による開設科目数等の状況

(H23学校要覧より：
県教育庁高等学校教育改革推進室調べ)

	全校生徒数 (募集定員)	地理歴史 ・公民の 開設科目数	理科の 開設科目数	部活動数 (運動部+文化部)
1学級規模 (40人学級)	120人	3.8科目	3.6科目	7.2部
2学級規模 ～3学級規模 (35人学級)	210人 ～315人	5.1科目	6.0科目	12.8部
4学級規模 ～5学級規模 (40人学級)	480人 ～600人	7.3科目	6.0科目	22.1部
6学級規模 ～7学級規模 (40人学級)	720人 ～840人	7.5科目	7.1科目	27.0部

※普通高校の場合

(2) 学校規模別の科目開設の状況 (理科)

普通科	物理基礎	物理	化学基礎	化学	生物基礎	生物	地学基礎	地学	科学 と 生活
1学級規模			◎	△	◎				○
2～3学級規模	◎	◇	◎	○	◎	○			△
4～5学級規模	◎	○	◎	○	◎	○			○
6～7学級規模	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◇	◇	

「◎」… 全校で開設、「○」… 3/4以上の学校で開設、「◇」… 1/2以上の学校で開設、「△」… 1/3以上の学校で開設

【物理・地学の開設状況】

	学校数	物理		地学	
		開設学校数	開設割合	開設学校数	開設割合
1学級規模	5校	0校	0%	0校	0%
2～3学級規模	14校	8校	57%	0校	0%
4～5学級規模	4校	3校	75%	0校	0%
6～7学級規模	15校	15校	100%	8校	53%

※普通高校の場合

(3) 学校規模別の部活動の設置状況

	運動部														平均設置部数				
	硬式野球	陸上競技	バスケットボール	バレーボール	テニス	ソフトテニス	ハンドボール	ソフトボール	バドミントン	卓球	サッカー	ラグビー	剣道	柔道		弓道	空手道	水泳	フェンシング
1学級規模	○	△	△	◇															3.6部
2～3学級規模	◎	○	○	○	◇			◇	◇	◇					◇	△			8.4部
4～5学級規模	◎	◎	◎	◎	◇	○		◇	◎	◎		○	○					◇	12.3部
6～7学級規模	◎	◎	◎	◎	◎	◇	△	◇	○	◎	△	○	◇	○	◇	○			15.5部

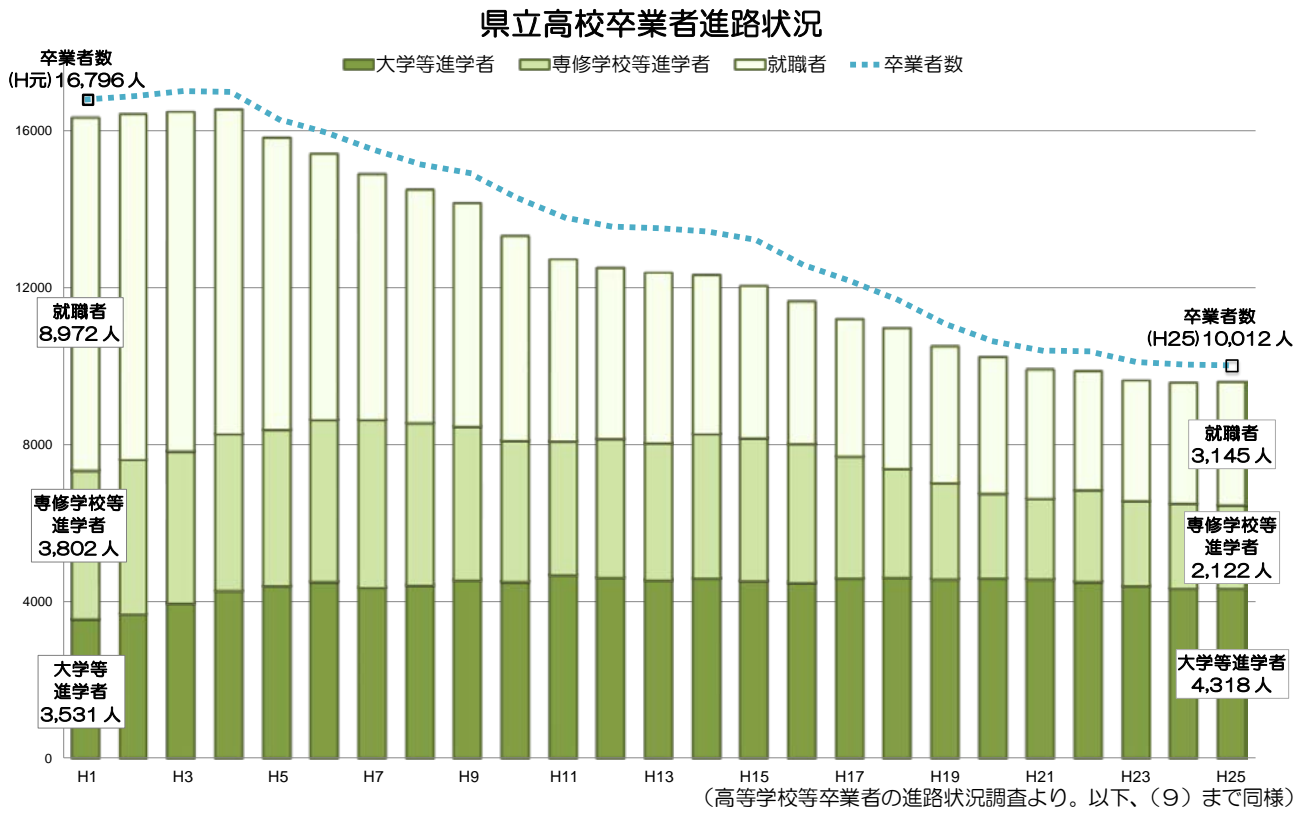
	文化部														平均設置部数			
	書道	美術	写真	茶道	華道	音楽	吹奏楽	演劇	JRC	放送	文学	漫画・イラスト	家庭・家政系	自然科学等		囲碁・将棋	パソコン等	商業・簿記等
1学級規模		△		◇			◇		△				△					3.6部
2～3学級規模		△		◇			◇									△	△	4.4部
4～5学級規模	◎	○	◇	○		◇	○	◎	○	◇						◇	◇	9.8部
6～7学級規模	○	◎	◇	○	△	△	◇	○	◇	△	◇	△		◇	◇			11.5部

「◎」… 全校で設置、「○」… 3/4以上の学校で設置、「◇」… 1/2以上の学校で設置、「△」… 1/3以上の学校で設置

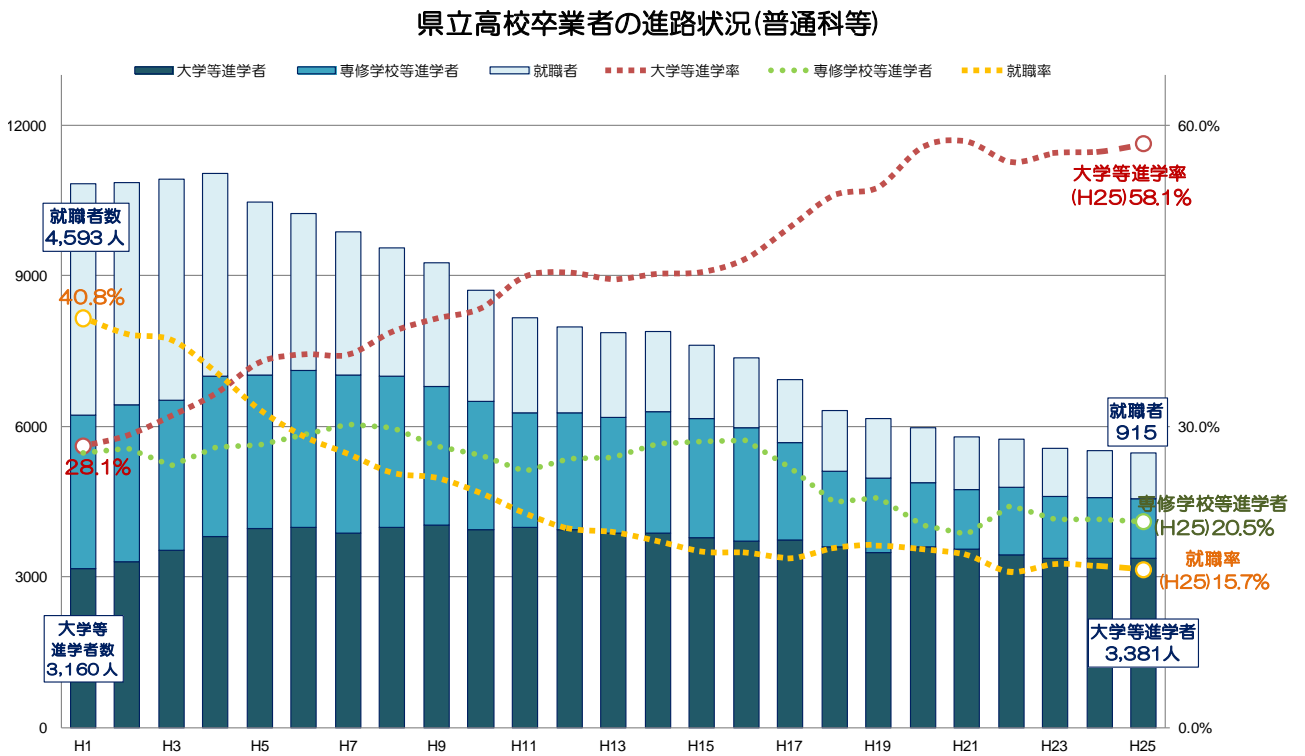
※普通高校の場合

6 高校卒業後の進路状況

(1) 青森県全体

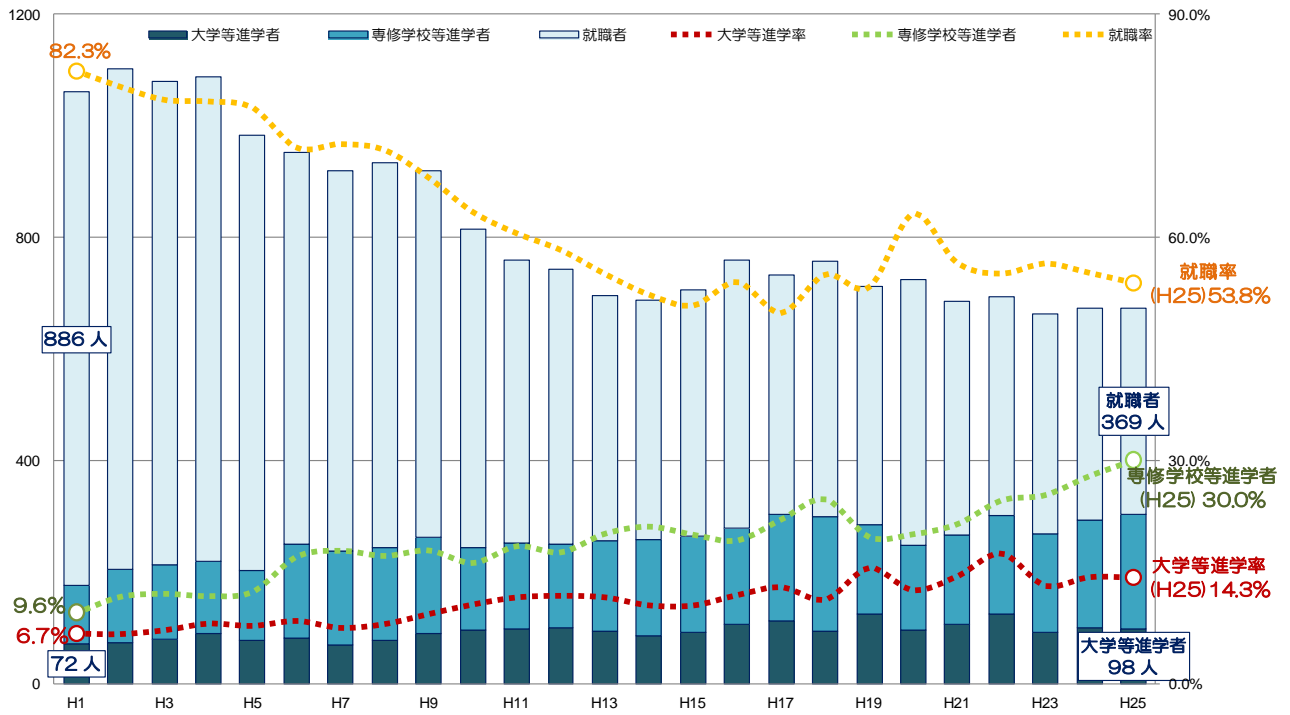


(2) 普通科等



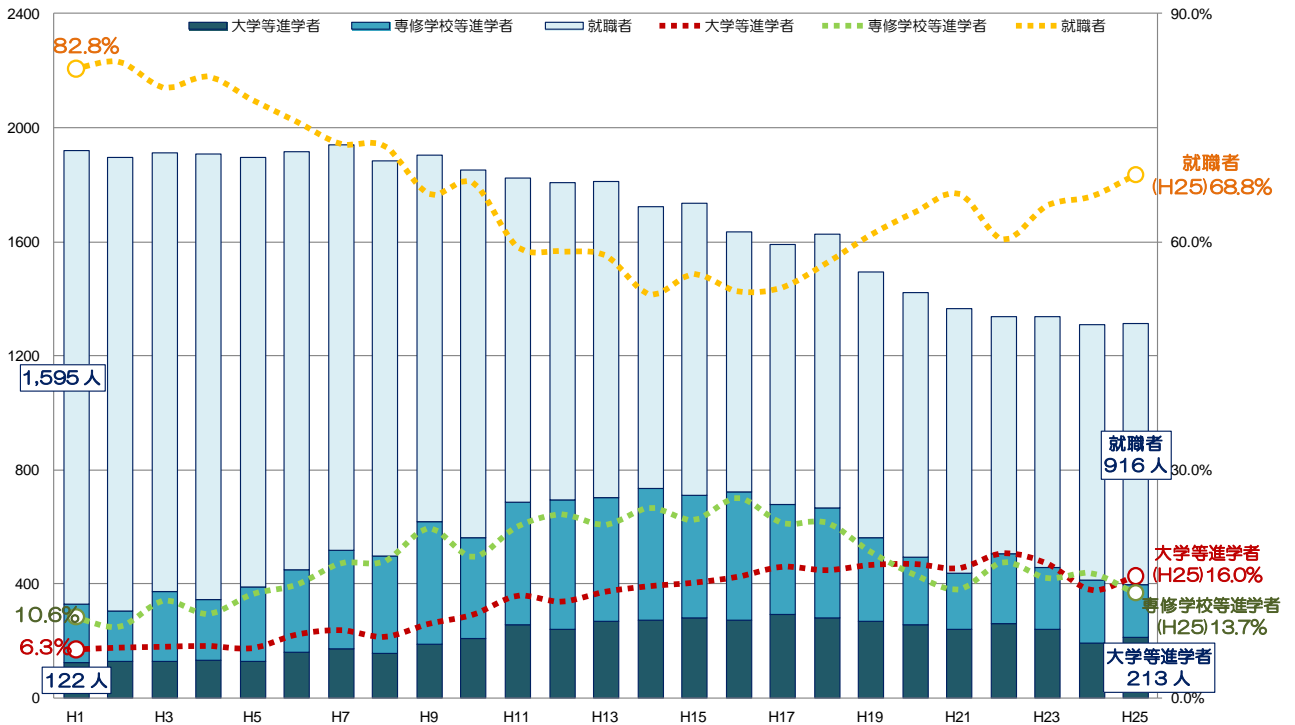
(3) 農業科

県立高校卒業生進路状況(農業科)



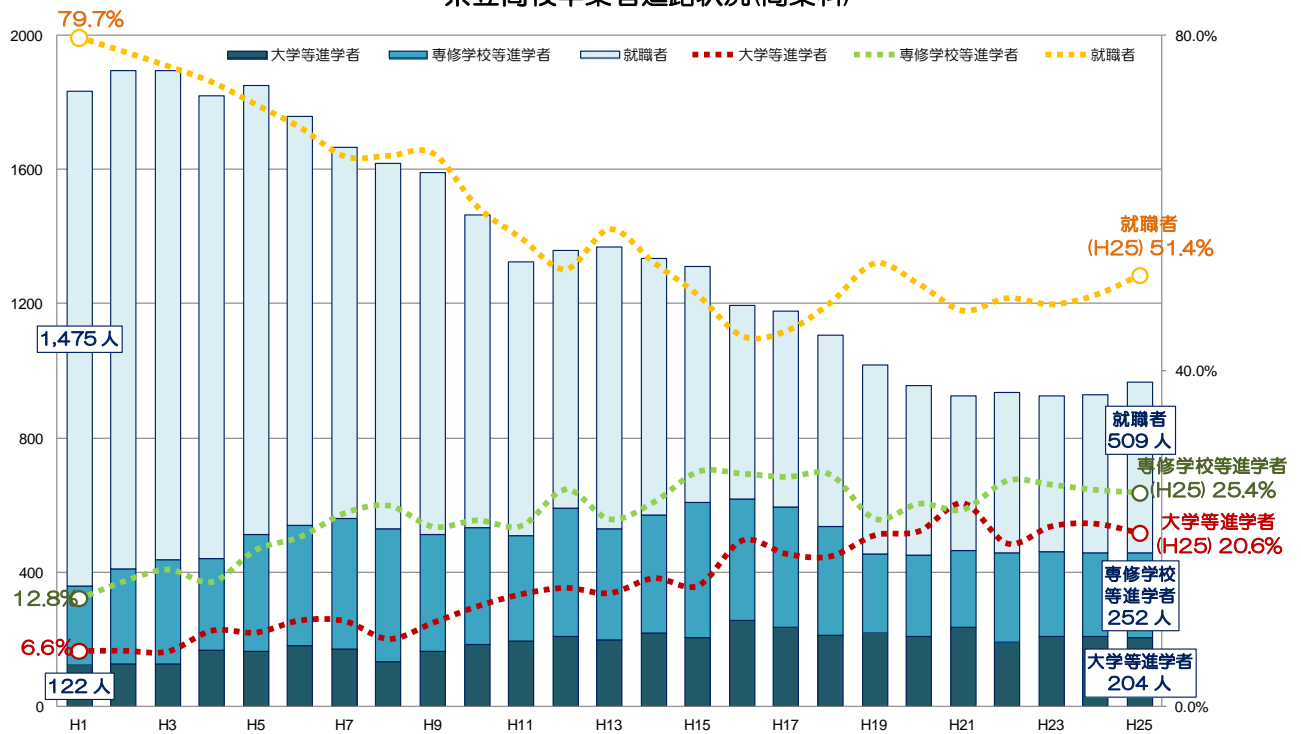
(4) 工業科

県立高校卒業生進路状況(工業科)



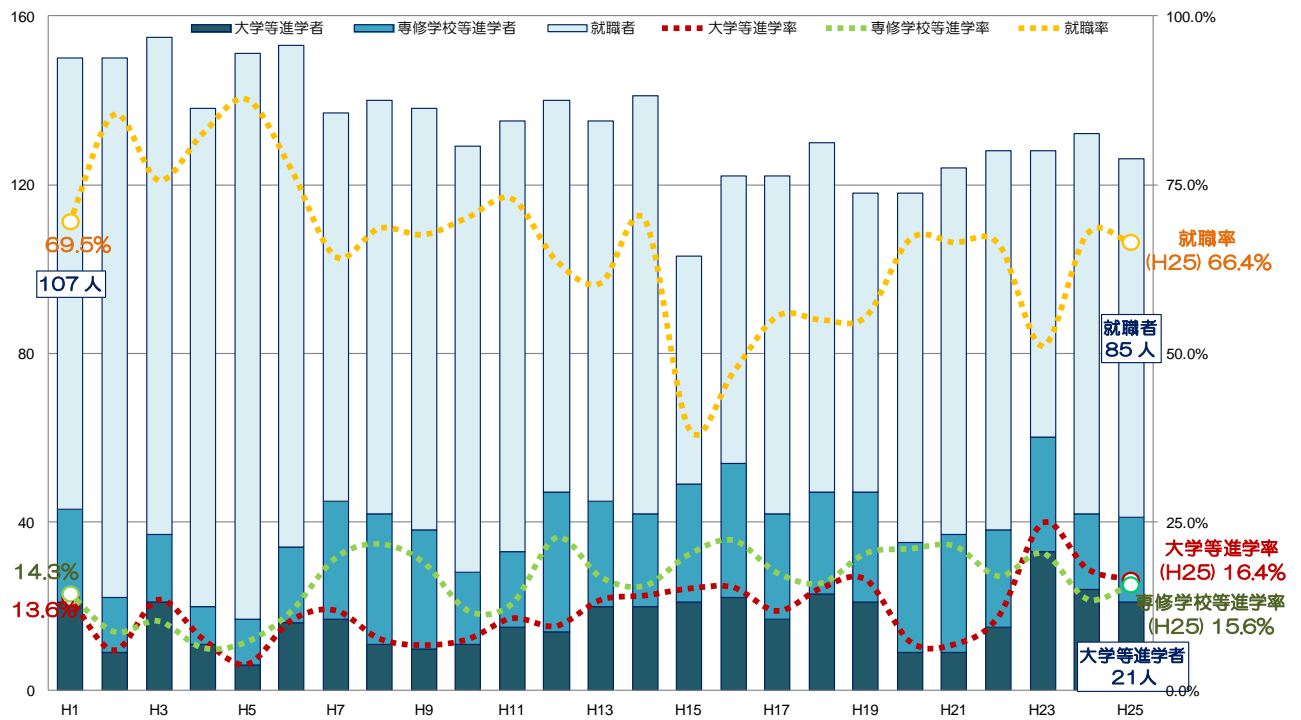
(5) 商業科

県立高校卒業生進路状況(商業科)



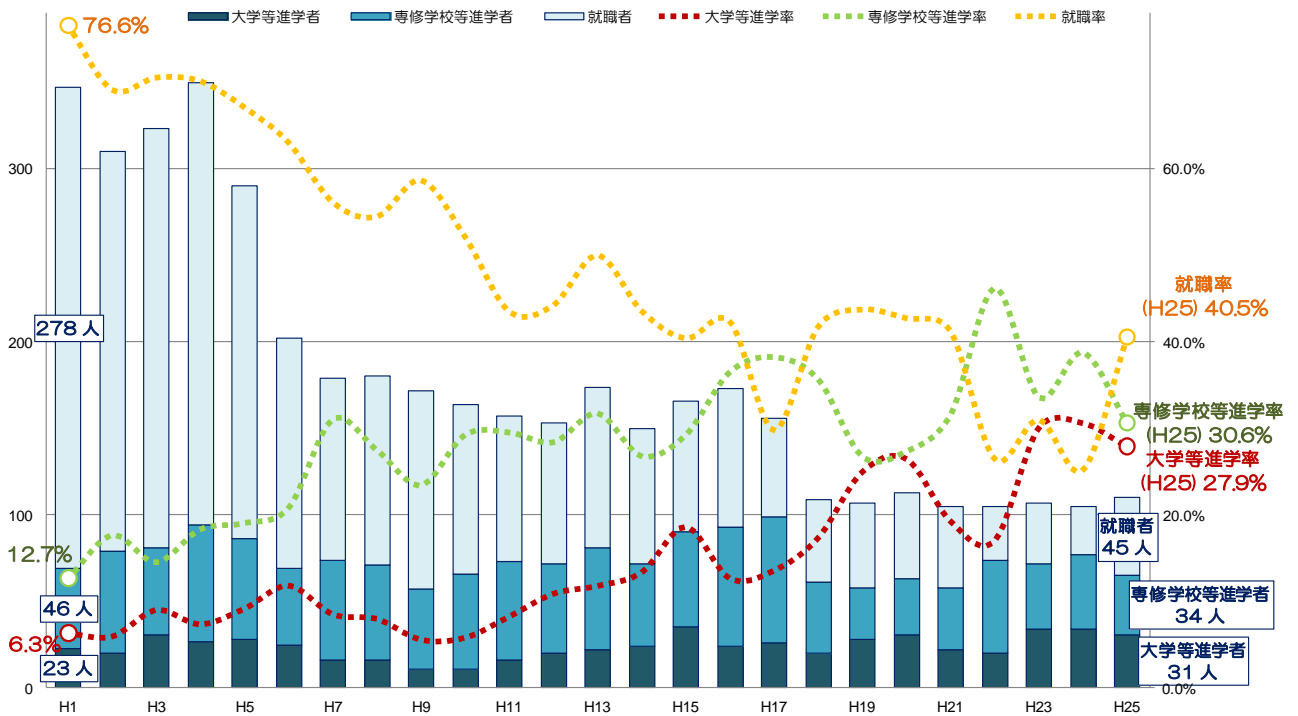
(6) 水産科

県立高校卒業生進路状況(水産科)



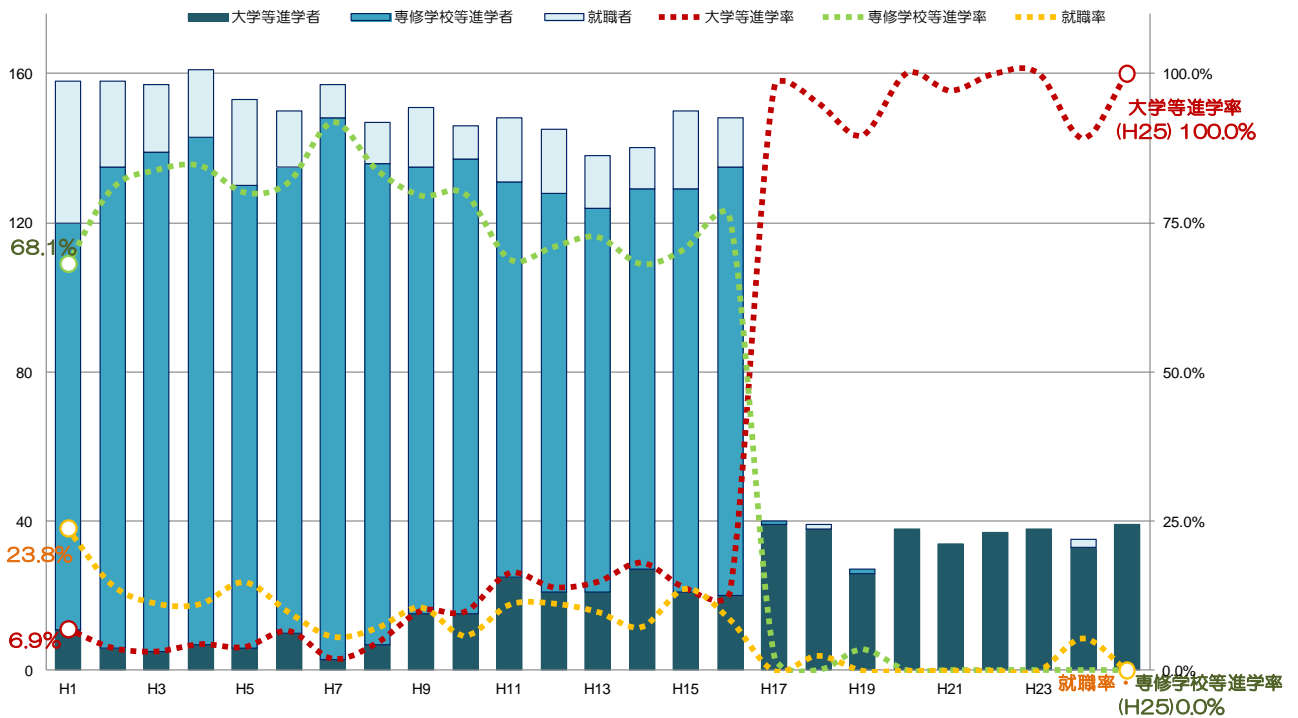
(7) 家庭科

県立高校卒業生進路状況(家庭科)



(8) 看護科

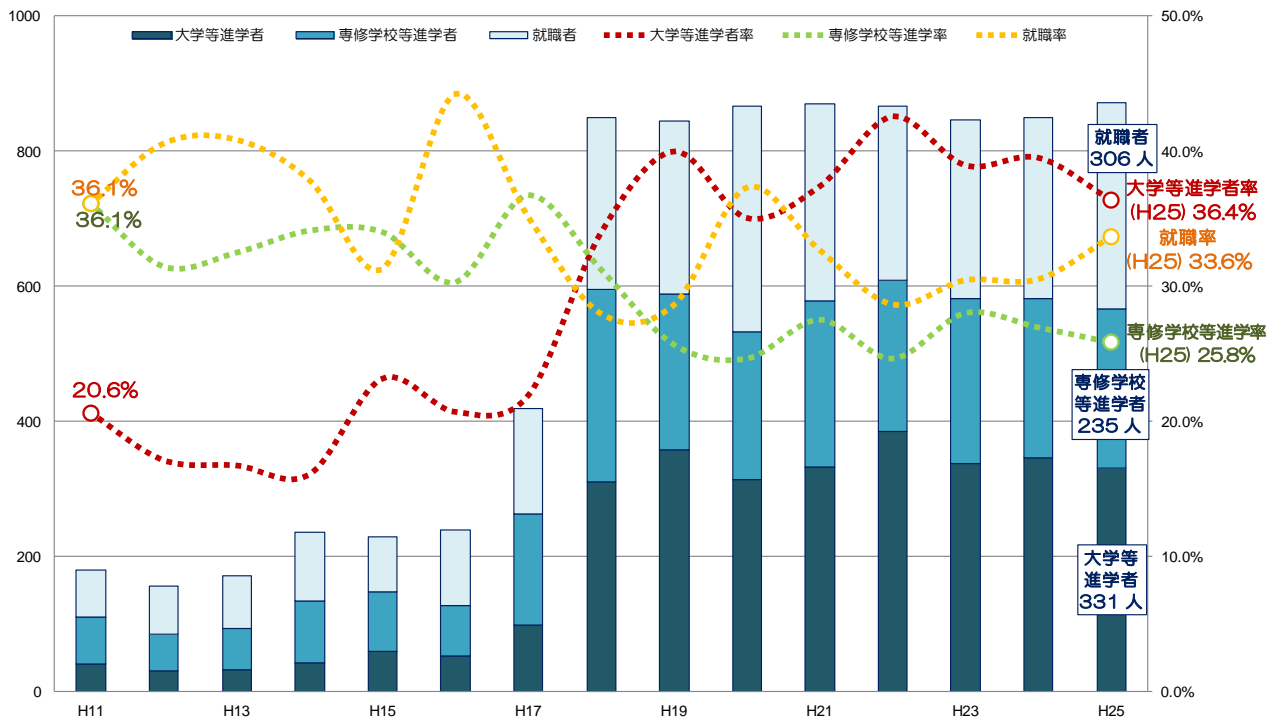
県立高校卒業生進路状況(看護科)



※看護師養成に関する国の制度改正により、平成14年度入学生から5年一貫教育による看護師養成課程を黒石高校で開始。平成17年3月の進路状況からは、黒石高校看護科のみの卒業生となっており、そのほとんどが同校専攻科へ進学している。

(9) 総合学科

県立高校卒業生進路状況(総合学科)



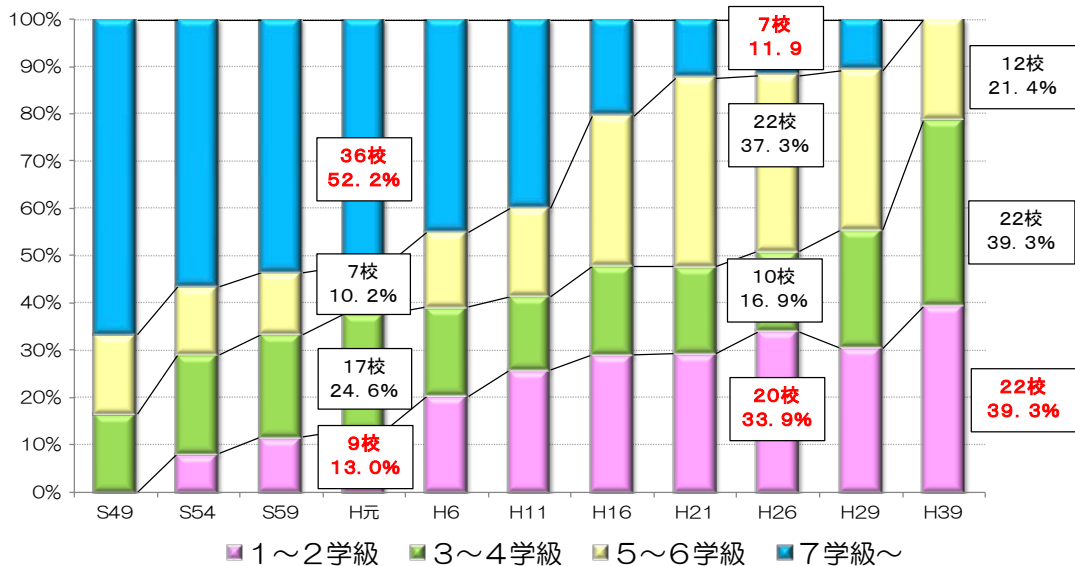
7 中学校卒業生数の推移及び見込み

	第2次 実施計画 (H17~)	第3次実施計画		次期計画（予定）					
		【前期】 (H21~)	【後期】 (H26~)	【前期】					【後期】 (H35~)
	H20	H25	H29	H30	H31	H32	H33	H34	H39
東青地区	3,262	2,958	2,958	2,836	2,623	2,601	2,396	2,477	2,209
西北地区	1,621	1,509	1,350	1,283	1,068	1,168	1,040	992	845
中南地区	3,122	2,850	2,543	2,355	2,394	2,217	2,089	2,118	1,918
上北地区	2,287	2,119	1,969	1,901	1,807	1,723	1,647	1,577	1,510
下北地区	896	782	700	698	658	584	574	587	524
三八地区	3,519	3,096	2,867	2,783	2,728	2,498	2,362	2,440	2,338
県 計	14,707	13,314	12,387	11,856	11,278	10,791	10,108	10,191	9,344
参 考 (前年比較)	-	-	-	△531	△578	△487	△683	83	-
参 考 (期間内増減)	△ 1,449	△1,393	△927	△2,196					△847
		△2,320		△3,043					

(県教育庁高等学校教育改革推進室推計)

8 次期計画において学級減のみで対応した場合の学校規模の見込

学校規模（1学年あたりの学級数）の推移



(県教育庁高等学校教育改革推進室推計)

※ 1学級、2学級規模の学校の学級数は維持し、3学級以上の学校から一定の割合で学級減を行い対応した場合の学校規模の見込